

第3章

前橋市が目指す姿

- 1 … こども・若者の願い
- 2 … 基本理念
- 3 … 基本目標



第3章

前橋市が目指す姿

1

子ども・若者の願い

- 本市では「こどもの笑顔があふれるまち」の実現を目指し、子どもや若者の意見を聴きながら『子ども基本条例』及び『子ども計画』の検討を進めてきました。
- 子どもから意見を聴く取組は、テーマを決めたワークショップや、アンケート調査への回答、意見を聴かれにくい子どもへの意見聴取の取組など、様々な方法で行いました。
- 若者からの意見聴取については、子どもと同様の方法に加えて、市内の大学に通う大学生で構成する「こどものまち前橋若者会議」を設置し、条例や計画について意見を聴きながら検討を進めてきました。
- これまでの取組で聴いてきた意見を以下のとおり、子ども、若者の願いとして紹介します。本市では、今後も子どもや若者の声を聴くことを大切にしながら、子ども施策を推進します。

意見聴取の実施状況

ワークショップ

令和6年度	8月25日	みんなで考えよう！こどもの権利（対象：小中学生）
	9月16日	みんなで話そう！こどもの権利（対象：高校生）
	3月16日	こどもの権利って何だろう？（対象：同日開催の性教育講演会参加小中学生）
令和7年度	5月24日～6月14日（全4回）	
		子ども基本条例の前文検討（対象：高校生）
	8月24日	こどもの笑顔があふれるまちって、どんなまち？（対象：小中学生）
	10月4日	アウトリーチ型ワークショップ（対象：児童養護施設の中高校生）

タウンミーティング

令和6年度	8月17日	前橋の未来について考えよう！（対象：高校生）
	10月26日	みんなで考える！前橋の子ども子育て（対象：小学生以下のこどもの保護者など）
	10月28日	社会で支え合う子育て（対象：保育施設関係者、子育て関係者）
	12月14日	みんなで考えよう！こどもの主体性～思春期の子どもとの関わり方～（対象：市内在住、在勤、在学の人）

その他

令和6年度	7月4日	子どもまんなかアクションリレーシンポジウム in 前橋
	10月31日～12月6日	前橋市少子化対策等に関する市民アンケート調査
	2月20日～3月7日	教育支援教室アンケート
	2月27日	前橋市立前橋特別支援学校 教職員アンケート（対面）

ワークショップ等における主なこども・若者の声

高校生タウンミーティング「前橋の未来について考えよう！」(R6.8.17)

- 子育てに悩む親が相談したり話し合っただけで悩みを解決できるようなイベントを開催してほしい。
- 男性の育児休暇取得率を日本一にする。

小中高生ワークショップ「みんなで考えよう！こどもの権利」(R6.8.25)

- 人権、権利があるからこそ当たり前だと思った生活ができる。

高校生ワークショップ「みんなで話そう！こどもの権利」(R6.9.16)

- 親としての責務を果たし、こどもを愛すること、こどもを一人の人間として扱って対話をしてほしい。
- こどもの行動範囲を広げ自立を促してほしい、その過程を社会全体で見守ってほしい。

前橋市少子化対策等に関する市民アンケート調査 (R6.10.31～12.6)

- 自分の気持ちや意見を素直に積極的に言える環境を作る。
- 自転車に乗れたりボール遊びなどスポーツがもっとできる公園がほしい。

高校生ワークショップ(こども基本条例の前文検討)(R7.5.24～6.14)

※グループごとに検討した望む社会

- 私たちこどもは、自分の個性や強みを見つけて夢や希望を持って大人になれる社会を望んでいます。そのために、私たちは様々なチャレンジの中で意見を主張したり他者と話したりして、自分への理解を深める必要があります。そして大人は、私たちが挑戦することを最大限に応援して、私たちこどもの憧れの存在になってください。
- 私たちこどもはやりたいことになんでも挑戦する気持ちを持っています。大人は私たちを常に否定せずに周りの大人に応援されたいです。また、私たちは安心できるような社会をつくらせてほしいです。
- 私たちこどもは「困っているこどもが安心できる社会」を望みます。そのために、私たちは互いに寄り添い助け合います。そして大人には、こどもの権利が守られる社会体制を整えてほしいです。
- 私たちこどもたちは、生まれながらに愛され、自分の意見を伝える権利を持っています。また、この社会で成長し、明るい前橋市となることを願っています。そして、私たちこどもはこの条例や定められた思いを深く理解し、私たち自身から、おとなたちと共に行動していくことを望みます。





小中学生ワークショップ

みんなで考えよう！こどもの権利

日時 令和6年8月25日(日) 9:00~12:00

会場 前橋市保健センター

対象 市内在住の小学5年生~中学3年生

参加者 19人
(小学5年生2人、小学6年生8人、
中学1年生7人、中学2年生1人、中学3年生1人)

若者委員 7人(こどものまち前橋若者会議 大学生委員)

実施内容の概要

「こどもの権利」について、4つの権利(生きる、育つ、守られる、参加する)を中心に学び、自分たちの日常生活の中にどのような権利があるか、その権利が守られているかなど、グループに分かれて話し合いました。グループワークでは、大切にしたい権利や、権利について疑問に感じたこと、学んだことなども話し合い、最後に発表を行いました。



Aグループ

大切だと思う権利

生きる権利：ご飯を食べないと生きられない
育つ権利：起きて寝ないと生きられない

「そうなんだ」と思った権利

当たり前のことが実は権利だった。

疑問に感じたこと

義務と権利って何が違うのか。

これからどうしたいか

- 差別をしない。
- もらっている環境を大切にす。



Bグループ

大切だと思う権利

生きる権利、育つ権利：ご飯を食べる、勉強をする、遊ぶ、友達と話す

「なるほど」と思ったこと

日常生活の行動で“着替える”が「守られる権利」と「生きる権利」に意見が分かれたが、お互いの意見を聞いてどちらにも捉えることができることを知り、なるほどと思った。

その他の意見や感想

- “朝起きる”“勉強する”は苦手、友達と話すことは楽しい。
- 話し合いの中で学校へ“安全に”行くことは「守られる権利」という意見になった。



Cグループ

大切だと思う権利

育つ権利：いろいろな経験をして成長できる、将来に関わる

その他の意見や感想

- 当たり前に出てくることを実感した。
- 他の人に守られているからこそ日常生活を送れる。
- 権利についてあまり意識していなかった。
- 人権、権利があるからこそ当たり前だと思っていた生活ができる。
- 全部が「守られている」うえで他の権利が成り立っている。→だから「守られる権利」が少なかったのではないか。



Dグループ

大切だと思う権利

守られる権利：生きる権利も育つ権利も守られているからできることが多い。

疑問に思ったこと

「守られる権利」が大切だと考えたけど、紐づく行動は少なかった。
→日常生活では気付きづらい。

今後どうしていきたいか

- 権利について考えながら生活したい。（とくに「生きる」「守られる」権利）
- その他、話し合いの中で助ける、助けられる権利という言葉も出てきた。



高校生ワークショップ

みんなで話そう! こどもの権利

日時 令和6年9月16日(月、祝日) 16:00~18:00

会場 前橋市高校生学習室(アクエル前橋2階)

対象 市内在住、在学の高校生及び高校生学習室利用者

参加者 20人
(高校1年生3人、高校2年生8人、高校3年生9人)

若者委員 5人(こどものまち前橋若者会議 大学生委員)

主催 前橋市(こども支援課)
前橋市教育委員会(高校生学習室)

実施内容の概要

「子どもの権利条約」をもとに「こどもの権利」を学び、大切にしたい権利についてグループで話し合いを行いました。さらに、安心して育つことができる前橋市にするために必要な権利を自分たちで考え、その権利に込める想い、大人にしてほしいこと、自分たちにできることなどを話し合い、最後に発表を行いました。



Aグループ

大切にしたい権利

(第2条) 人種、性別、宗教、障害、貧富の差、考え方などによって差別されない権利

自分たちで考えた権利

子どもが貧富の差に悩まなくていい社会を求める権利

込める想い

子どもの立場でも自分たちが望めば教育などの支援を享受しやすい社会になってほしい。

大人たちにも、こどもが権利を持つことを知ってほしい。

大人にしてほしいこと

「貧富の差」をなくすのは一筋縄にはいかない。しかし、それに悩む人を一人でも少なくするような取り組みはもっと身近にあるかもしれない。様々なこどもが利用できる施設・サービスを提供・周知していただきたい。

自分たちにできること

自分たちが権利を持っていて守られている立場であることの自覚を持つ!!

このワークショップのような意見を考えたり伝えたりするチャンスに積極的に参加して子どものときから政治に関心を持つ。



Bグループ

大切にしたい権利

(第28条) 教育を受ける権利

自分たちで考えた権利

自己形成の準備をする権利

込める想い

教育があることで搾取されたり扇動されたりすることを防ぐことができる。しかし、学校教育のみでは、社会に出たときに使うような実用的なマナーなどを学ぶ機会が無い。学校だけでない教育にも焦点を当てたい。

また、学校以前に保育園や幼稚園の待機児童問題も深刻である。知識的な教育を受ける以前の集団行動や人との関わり方などを学べる場として重要視したい。

大人にしてほしいこと

- 待機児童を受け入れるための幼稚園や保育所の増設
- 社会に出たうえで生きていくための知識やマナー教育(新教科として)

自分たちにできること

子ども一人ひとりが今の教育についての現状を知り、子どもの視点から教育委員会や市に積極的に意見を訴える。



Cグループ

大切にしたい権利

(第6条) 生きる権利、育つ権利

自分たちで考えた権利

生きることに希望を持つ権利

込める想い

子どもの成長には愛情が必要不可欠であるという研究結果がある。結論、愛情を受けない子どもは死亡率が上昇するという結果のもと、親が子どもに愛情を注ぎ、子どもが愛情を感じ生きていくことに希望を見出せる親子関係の構築が必要なのではないか。

大人にしてほしいこと

- 親としての責務を果たし、子どもを愛すること
- 子どもに伝わる方法で愛情を伝える
- 子どもを一人の人間として扱って対話すること

自分たちにできること

- 嫌なことは嫌だときちんと伝える
- 自分に関わる大人とのコミュニケーションを取る



Dグループ

大切にしたい権利

(第36条) 誰からも幸せを奪われない権利

自分たちで考えた権利

幸せを見つける権利
～Looking for own happiness～

込める想い

幸せだと思ふ瞬間は一人一人違う。ある一つの幸せを守るのではなく、各々が幸せを「見つける」ところも守ってほしいと思ったから。「子どもだから」と大人に決めつけられて、子供のしたい事をさせてもらえないのは、主体性に欠けた大人になってしまう。

大人にしてほしいこと

- 教育についての正しい知識の取得
- 金銭面のサポート(奨学金など)
- 子どもの思いを否定せずに尊重してほしい
- いろんなことを経験ができる機会を増やしてほしい

自分たちにできること

- 自分たちのしたいことの情報収集
- 他者の意見や思い、価値観を尊重する
- いろいろなことを体験(好きなことを見つけるため)



- 意見の尊重(くだらないことも話せるような環境を作る)
- やりたいことに迷わずに挑戦できる環境を作ってほしい
- 心の余裕(趣味を極めたり、旅行などでリフレッシュ)

Eグループ

大切にしたい権利

(第31条) 休んだり遊んだりする権利

自分たちで考えた権利

守られた環境の中で子どもらしく楽しめる権利

込める想い

子どもの行動範囲を広げ、自立を促してほしい
そしてその過程を社会全体で見守ってほしい

大人にしてほしいこと

子どもの生活を優しく見守ってほしい

自分たちにできること

- 自分の身分を証明するための学生証を所持して外出する
- 夜10時以降の無駄な外出をなるべく控える



本計画では、計画を通じて実現を目指す本市の姿を「基本理念」として定めます。さらに、基本理念を達成するために必要となる具体的な施策につなげる3つの「基本目標」を定めて、施策を推進します。

2

基本理念

- 本計画で実現を目指す本市の未来の姿を、次のとおり計画の基本理念として掲げます。

**全てのこどもが夢や希望を持ち、
笑顔で自分らしく育つことができる、
みんなが幸せなまちをつくる**

- こどもが生まれながらに持つ基本的人権（こどもの権利）を保障し心身の状況、置かれている環境等にかかわらず、誰も取り残すこと無く、全てのこどもが、将来に向けて夢や希望を持つことができ、幸せに育つことができる市の実現を目指します。
- 基本理念に掲げた市の姿を実現するためには、行政によるこどもや若者、子育て当事者への支援だけでなく、地域や事業者など社会全体でこどもや若者の活動や成長、子育てしている家庭への応援やサポートが必要となります。市全体でこどもを育むことができるよう環境の整備を行い、こどもの健全な成長が全ての人の幸せにつながる市の実現に向けて様々な施策に取り組んでいきます。



3

基本目標

- 基本理念の実現に向けて、具体的な施策につなげるために3つの「基本目標」を次のとおり定めます。さらに、基本目標の下には「施策の柱」を定めて事業や取組を整理、明確化して進めます。

基本目標 1 こどもの権利

こどもが権利の主体であることを共有し、その声を聴き、ともに社会をつくる前橋市の実現

基本目標 2 支援の充実

こどもから若者、子育て当事者へ切れ目のない支援や環境を整え、こどもが健やかに育つ、育てることができる前橋市の実現

基本目標 3 社会全体の取組

こどもが安全に、安心して、自ら学び、成長できるまちをみんなで作くり、全ての市民、事業者など市全体でこどもの成長を支え、未来につなぐ前橋市の実現

■ 前橋市こども計画の構成

